

2021年4月現在 修士1・2年次 博士後期課程1年 対象

JEES・出光(潤滑技術)奨学金の募集について

【応募資格】

2021年4月現在、修士課程1年次もしくは2年次、もしくは大学院博士後期課程の1年次に在籍する日本人学生で、トライボロジーに関わる機械、電気、電子、化学、材料、ものづくりなどの工学分野を専攻する者

【推薦人数】

1名（全国で2名）

【奨学金給付月額】

80,000円（最短修業年限まで）

【提出書類】

- (1) 願書（様式1）※写真貼付
- (2) 推薦理由書（様式3）
※指導教員に作成を依頼すること。
- (3) 成績証明書（4月7日以降にACMより発行）
- (4) 家族状況調書
- (5) 親権者の所得に関する証明書（源泉徴収票、確定申告書等の写し）

【提出期限】

令和3年4月23日（金）

【提出場所】

工学系事務部教務課学生支援担当（③番窓口）

※奨学金の受給決定者は、アンケート等への回答、及び交流会・インターンシップ等に参加することが求められます。

令和3年 4月 1日

工学系事務部教務課学生支援担当

令和3年度 JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、出光興産株式会社(代表取締役社長 木藤俊一氏)のご支援により、「JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金」(以下「本奨学金」という。)の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

本奨学金は、工学分野を学ぶ学生の経済的不安を緩和し、学業に専念できる環境を整えることで、将来、潤滑油事業で活躍が期待される有望な人材の育成を目的とする。

2 奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である出光興産株式会社は、創業以来、燃料油や石油化学製品を中心とする事業や、潤滑油、電子材料、機能化学品、アグリバイオ等の高機能材事業で日本の産業を支えてこられた。本奨学金により、「ものづくり」を担い日本の競争力の源でありながら、今後ますます人材不足が懸念されるトライボロジー分野を牽引していく研究職・エンジニアの育成を願い資金を提供された。

3 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 令和3年4月に、本協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という。)の修士課程(博士前期課程及び一貫制博士課程も含む。)1年次もしくは2年次、又は博士課程(博士後期課程及び一貫制博士課程も含む。)1年次(一貫制博士課程の場合は3年次)に正規生として在籍する日本国籍を有する者又は日本への永住を許可されている者。
- (2) トライボロジーに関わる機械、電気、電子、化学、材料、ものづくりなどの工学分野を専攻する者。
- (3) 本奨学金の支給期間中、他の奨学金を受けない者。[貸与型(返済が必要なもの)、学費免除、国の高等教育修学支援新制度は除く。]
- (4) 修学目的が明確で、支援の効果が期待できる者。
- (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。
- (6) 令和3年4月に在籍する大学の長の推薦を受けることができる者。

4 採用人数

2名程度

5 支給内容

月額奨学金 80,000円

6 支給期間

令和3年4月から在籍課程の修了まで。

※一貫制博士課程の場合は、1～2年を修士課程、3～5年を博士課程とみなす。

7 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

8 応募・推薦書類

	提出物	提出方法	ファイル形式	備考
(1)	願書(様式 1)	メール	Excel	日本語で書かれたものに限る
(2)	推薦書(様式 2)	郵送	紙	文書番号の記載があれば、公印省略可
(3)	推薦理由書(様式 3)	メール	Excel	推薦理由は、指導教官等が記入すること
(4)	学業成績証明書	メール	PDF	令和 2 年度分

※ メールでの提出先は、ix-app@jees.or.jp とする。

9 応募・推薦書類の提出期限

メール、郵送ともに令和 3 年 5 月 26 日(水)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は、7 の(2)により推薦された者について書類選考をおこない、書類選考通過者に対して面接(6 月下旬予定)を実施し、奨学生を決定する。結果は、令和 3 年 7 月中を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

11 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12 奨学生の義務

- (1) 奨学生は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて本協会に提出すること。
- (2) 奨学生は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて遅滞なく届け出ること。
- (3) 奨学生は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、本奨学金受給終了時に所定の様式により、大学を通じて本協会に報告すること。
- (5) 奨学生は本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答及び交流会・インターンシップ等に参加すること。なお、インターンシップは令和 3 年 9 月上旬の 1 週間程度、交流会は令和 4 年 2 月頃を予定。

13 本奨学金給付の休止又は終了及び決定取消

- (1) 奨学生が大学を長期欠席(1か月以上)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6に記載した奨学金の支給期間において奨学金の支給を再開することがある。但し、6の支給期間は延長しない。
- (2) 奨学生が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、除籍、停学、休学または留年(相当すると認められる場合も含む)した場合。
 - ② 本奨学金奨学生の義務を怠った場合。
 - ③ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他奨学生として相応しくないと判断された場合。
- (3) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、本奨学金の支給を休止又は終了する。
- (4) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

14 その他(注意事項等)

- (1) 奨学生は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨通知すること。また、本奨学金奨学生として採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退し、他の奨学金を受給することはできない。
- (3) 受給開始から終了まで他の給付型奨学金に応募することはできない。(ただし、本奨学金の受給終了後に支給を開始する他の奨学金は除く。)
- (4) 所属大学の留学制度等を利用して海外に留学する場合、長期欠席または休学の扱いとならなければ、支給を継続する。
- (5) 過去、本奨学金を受給した者は再度応募することはできない。

- (6) 本協会の奨学金事業における標準就業年限は、原則学士課程4年、修士(博士前期)課程2年、博士後期課程3年とし、この期間を支給対象とする。長期履修学生についても、これに相当する期間を支給対象とする。ただし、医学部等この期間を超えて在学が必要な学部・研究科においては、大学の定める標準就業年限を支給対象とする。

15 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、15(2)①から③及び⑤の目的で寄付者に開示・提供する場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 本奨学金奨学生を選考するため。
- ② 本奨学金支給事務のため。
- ③ 本奨学金懇親会・インターンシップ・イベント・アンケート等を実施するため。
- ④ 本協会実施の国際教育支援プログラムの案内や参加の際の連絡手段のため。
- ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に奨学生本人からの承諾を受けた上で、本協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。

16 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育課
〒105-0003東京都港区西新橋1-13-1 DLXビルディング12階

[TEL:03-5454-5274](tel:03-5454-5274)

FAX:03-5454-5242

MAIL: ix-app@jees.or.jp (応募書類提出用)

MAIL: ix@jees.or.jp (問い合わせ用)

以上

令和3年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金 願書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

私は、本奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、令和3年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金の奨学生として採用願いたく、願書の記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。また、募集・推薦要項15(2)①から③及び⑤の目的で、願書の記載事項を寄付者に開示・提供することに同意します。なお、奨学生として採用された場合は、本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはいたしません。

記

氏名		写真 データを貼り付けること。 (詳細は【記入上の注意】を 参照のこと。)
カナ		
ローマ字		
漢字		
学籍状況(令和3年4月1日時点)		
学校名		学科・専攻
選択してください	年(年 月入学、 年 月卒業予定)	
国籍・地域		
生年月日		性別
年 月 日(令和3年4月1日時点で 歳)		

●応募者の経済状況(令和3年度見込み)

収入内訳(すべて平均月額を記入すること) ※本国の家庭の収入、日本国外にいる配偶者の収入など、 生計を一にする別居者の収入は含まない		支出内訳(すべて平均月額を記入すること)	
仕送り額	円	学費	円
生計を一にする同居者の収入	円	教材費	円
アルバイト収入、 RA・TAの給与等	円	住居費	円
特別研究員 研究奨励金	円	生活費	円
高等教育の修学支援新制度 給付型奨学金	円	その他 ()	円
その他 ()	円	小計	0 円
その他 ()	円	授業料免除額	円
合計	0 円	合計 ※小計-授業料免除額	0 円
収入-支出			0 円

●他の奨学金受給・申請状況 ※一時金も含む

貸与型 給付型	奨学金名	支給団体名	年額	受給期間	状況
			円	年 月 から 年 月 まで	
			円	年 月 から 年 月 まで	
			円	年 月 から 年 月 まで	
			円	年 月 から 年 月 まで	

●学歴・職歴(高等学校卒業以降)

学歴 職歴	学校名・勤務先及び所在地	専攻分野・職務内容・地位	在学・勤務期間
			年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで
			年 月 から 年 月 まで

●JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金に応募する理由

●学習・研究計画

概要・ テーマ	
具体的な内容	

●学業修了後、どのような進路を希望するか。また、将来どのような職業・仕事に就きたいと思うか。

--

●出光興産株式会社の事業について、あなたがどう理解し、どう考えているか自由に述べよ。

以上

【記入上の注意】

- ・添付する写真は、上半身、脱帽、最近6ヶ月以内に撮影したものとし、縦4cm・横3cm・50KB以下のものを貼り付けること。
- ・申請者本人が入力すること(手書き不可)。
- ・スペースが足りない場合は、行の追加・高さの調整をしてセル内におさめること(別紙を添付しないでください)。

在籍課程
選択してください
修士(博士前期)課程
博士後期課程
博士後期課程(4年制)
5年一貫制博士課程

令和3年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金 推薦理由書

令和 年 月 日

下記の者を、令和3年度JEES・出光興産(潤滑技術)奨学金に推薦します。推薦理由は、以下の通りです。

● 推薦する学生

氏 名		
カナ		
ローマ字		
漢字 (ある場合)		
学籍状況(令和3年4月1日時点)		
学校名	学部・研究科	学科・専攻
選択してください	年 (年 月入学、	年 月卒業予定)

● 推薦理由

--

推薦者

所属先 (研究科/専攻)	職名	氏名

以上

在籍課程
選択してください
修士(博士前期)課程
博士後期課程
博士後期課程(4年制)
5年一貫制博士課程

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 _____

学生番号 _____

氏名 _____ 所属(学部等) _____ 年 _____

生年月日・年齢・性別 _____ 年 _____ 月 _____ 日生(歳)(男・女)

携帯 _____ 連絡希望メールアドレス _____

本人住所 _____

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、* 欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■ 就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合: その年月(_____ 年 _____ 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(_____ 年 _____ 月) 就労見込(有・無)

■ 本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	
	貸与・給与		受給中・申請中・申請予定	

単位: 万円

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(_____ 人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			

家族状況等調書(学内選考資料)

申請奨学金名 **北大奨学会**

学生番号 **01234567**

氏名 **北大 太郎**

所属(学部等) **文学部**

2 年

生年月日・年齢・性別

1993 年 **1** 月 **1** 日生(**20** 歳)(**男** ・ **女**)

携帯 **090-0000-0000**

連絡希望メールアドレス **syogaku@academic.hokudai.ac.jp**

本人住所 **札幌市北区北17条西8丁目**

1. 本人を除く家族及びその職業等

あなたと生計を一にする者全員を記入してください。なお、* 欄に該当する場合は、もれなく記入してください。

■ 就学者を除く家族

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	職業	勤務先名等	本人と同居・別居	大学(学務部)記入欄		
						給与収入	所得金額	控除
父	北大 一郎	55	会社員	××株式会社	同居・別居			
母	北大 花子	52	パート	〇〇スーパー	同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			
					同居・別居			

* 父・母死亡・生別の場合: その年月(年 月)

* 主たる家計支持者が無職(失職)の場合: その年月(年 月) 就労見込(有・無)

■ 本人を除く就学者

単位: 万円

続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	大学(学務部)記入欄
弟	北大 二郎	20	私立 北海大学	1	自宅・自宅外	
妹	北大 花江	17	公立 札幌高校	2	自宅・自宅外	
			立		自宅・自宅外	

2. 本人の奨学金受給・申請状況

あなたの現在受給されている奨学金及び現在申請中・申請予定の奨学金についてもれなく記入してください。

単位: 万円

奨学金名	貸与・給与	月額	受給・申請状況	大学(学務部)記入欄
日本学生支援機構第二種	貸与・給与	50,000	受給中・申請中・申請予定	
△△育英会	貸与・給与	20,000	受給中・申請中・申請予定	
◎◎奨学会	貸与・給与	30,000	受給中・申請中・申請予定	

大学(学務部)記入欄			
(1) 父子・母子世帯		総所得金額	
(2) 就学者		特別控除金額	
(3) 障害者・長期療養者		認定総所得金額	
(4) 家計支持者別居		収入基準額(人)	
(5) 災害		困窮度	
(6) 本人控除			
特別控除計			